

1. エコミグループウェアについて

エコミグループウェアについて説明します。

目次

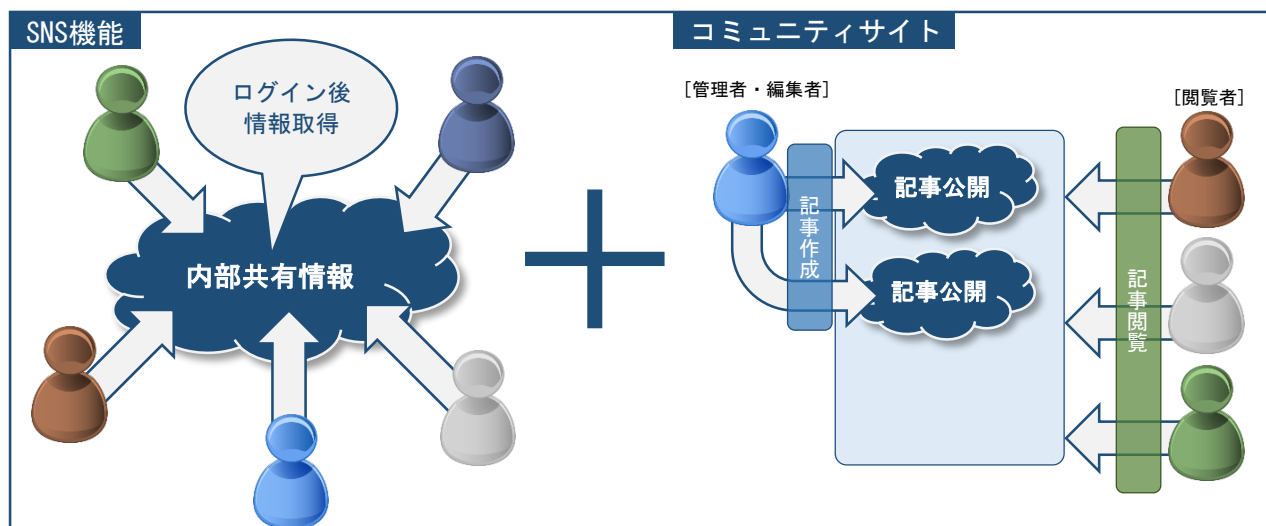
eコミグループウェア	1
eコミグループウェアとは	1
サイト・グループページ	2
サイト	2
グループ	2
グループページ	3
親ページ、子ページ	3
サブサイト	3
ユーザーと権限	4
ユーザーとメンバー	4
サイト権限	5
システム管理者	5
サイト管理者	5
ユーザー（登録ユーザー）	5
非ユーザー	5
グループ権限	6
グループ管理者	6
グループ副管理者	6
グループ編集者	6
一般利用者	6
未参加	6
公開範囲	7
公開範囲の設定値	8
インターネット	8
登録ユーザーのみ	8
サブサイトメンバー	8
グループメンバー	8
管理者のみ	8
公開範囲の設定できる場所（単位）と場所の包含関係について	9
公開範囲の包含の例外について（重要）	9
サイト/システム管理者（公開範囲権限の例外）	9
表示・デザイン系	10
デザインや雛形	10
テーマ	10
ページテンプレート	10
ページの呼び方	10
グループページ	10
メインページ	10
ポータルページ	10
パーツに関すること	10
パーツ	10
ブロック	10
メインカラム	10
記事	10
情報の集約	11
情報の集約について	11
集約の条件となる情報	11
サイトタグ	11
位置情報	11
時間情報	11
集約を行う機能（パーツ）	12
ワッツニューパーツ	12
簡易マップパーツ	12
RSSパーツ	12

h2>eコミグループウェアとは

eコミグループウェア（以下eコミ）とは、従来の参加型コミュニティWebシステムを住民や市民グループ等利用者の視点から見直し、さまざまな利用シーンを想定して、地域の運営・経営（地域の問題解決方法を考える）の支援ツールとして作成されたCMS+SNSです。



一般的なSNS機能である会員向け情報共有、一般的なコミュニティサイトの不特定多数への情報発信の機能が利用できます。



サイト・グループページ

eコミグループウェアでは、1つのシステム（サイト）で、複数の団体、組織、個人に独立したWebサイトを提供できます。以下で、eコミにおける「サイト」「グループ」「グループページ」「サブサイト」などについてその概念を説明します。

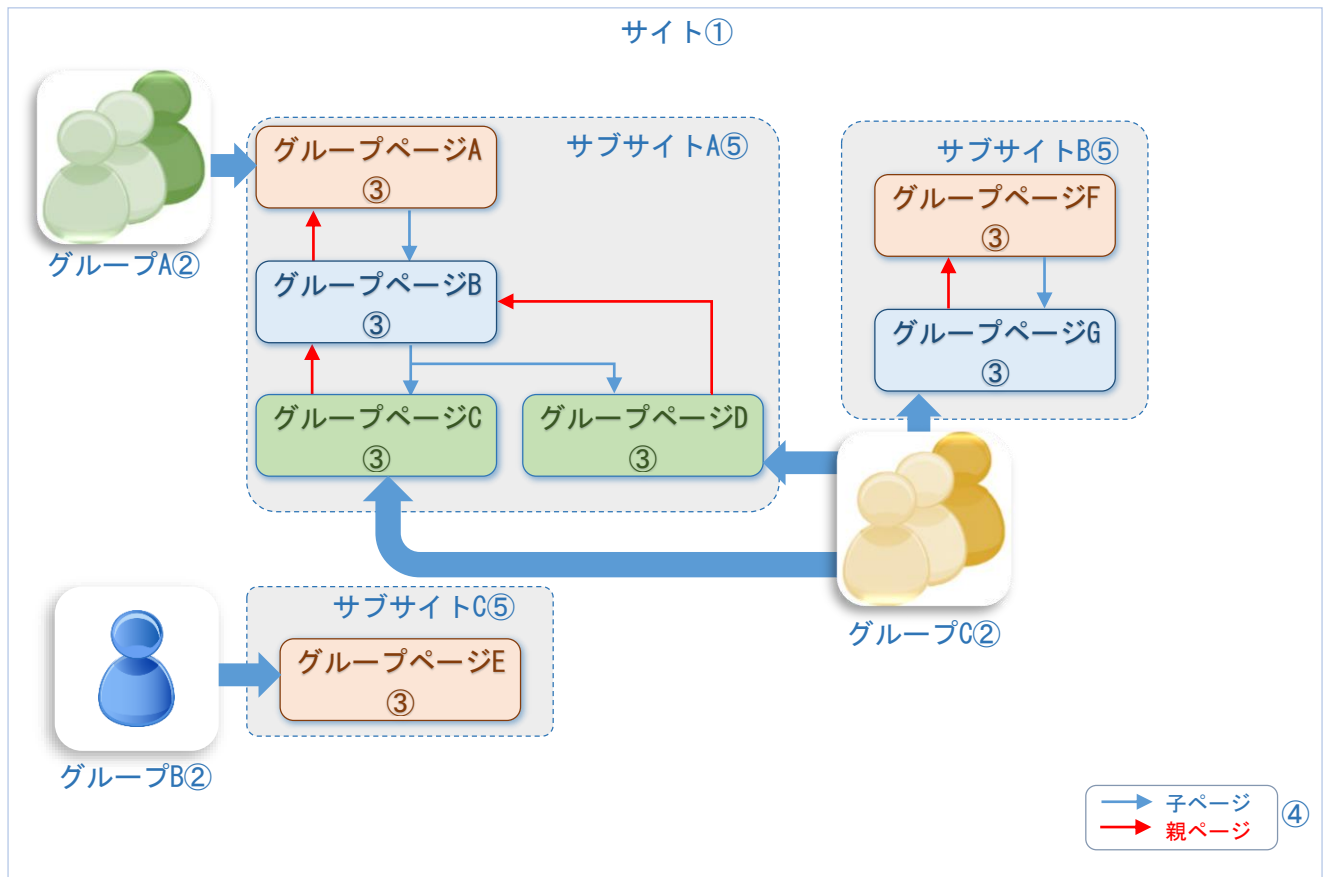
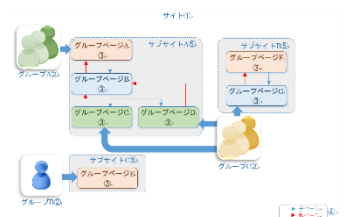


図-1

サイト

eコミサイトのことです。1つのドメインでつくられた1つのeコミグループウェアシステムのことです。以降「eコミ」と呼びます。（図-1①）



グループ

eコミを利用する団体（個人）を「グループ」と呼びます。（図-1②）



グループページ

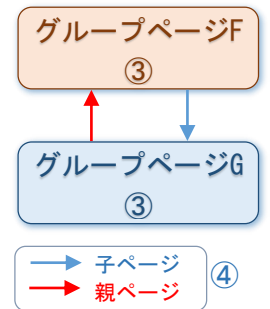
上記グループに割り当てられるサイト上のページのことです。サイト内で利用できるそれぞれのページのことを、グループに提供されるページという意味で「グループページ」と呼びます。(図-1③)



※ 「グループページ」は「ページ」と略する場合もあります。

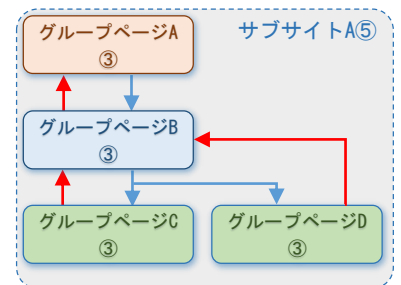
親ページ、子ページ

eコミでは、グループページに関係（繋がり）を持たせることが可能です。あるページから見て上位にあるページを「親ページ」、下位にあるページを「子ページ」と呼びます。また、どのページとも繋がりが無いページを「独立したグループページ」とします。(図-1④)



サブサイト

親子の上下関係にかかわらず、とにかく関係（繋がり）の有るグループの集まりを「サブサイト」と呼びます。(図-1⑤)



ユーザーと権限

eコミサイトを活用するにはユーザー登録が必要です。ただし、サイトの中に多数のグループがあるため、「ユーザーをグループに参加させる」ことがほとんどです。「ユーザー登録」と「グループ参加」の違いを以下で説明します。

ユーザーとメンバー

- ・ サイトのユーザー登録をしているユーザーを「ユーザー」と呼びます。
- ・ 更にあるグループに参加すると「〇〇グループ」の「メンバー」となります。

eコミでは「ユーザー登録」を行い、更に「グループに参加」すると、以下3つの状態をもつことになります。

- ① サイトの「ユーザー」
- ② 〇〇グループの「メンバー」
- ③ 〇〇グループが属する「サブサイトメンバー」

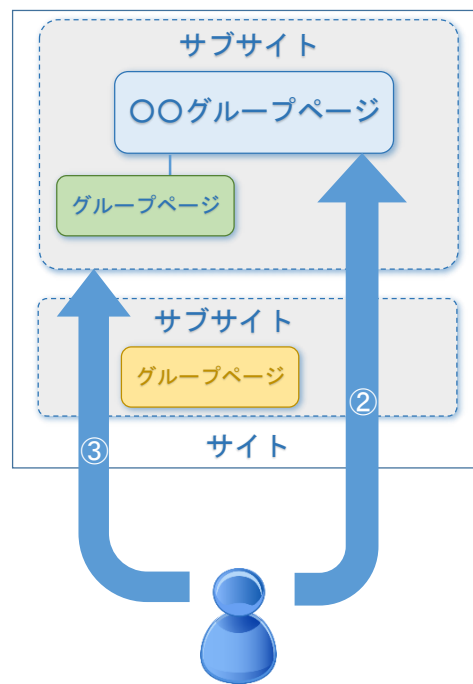


図-2

- ※ ①の状態はID・パスワードが発行されログイン可能です。
- ※ グループに参加すると②③の状態になります。

サイト権限

サイト全体に関わる権限をサイト権限と言います。「ユーザー」に割り当てられる権限ですが、サイトを管理するユーザー以外ではあまり意識しなくて良い権限です。eコミ利用においては、後述するグループ権限が重要となります。

サイト権限には以下の4つの権限があります。

システム管理者

サイト内に関わる操作はすべて可能です。

サイト管理者

システム管理者とほぼ同等の権限ですが、「システム管理者を指定できない」「ユーザー一覧のCSVテキストで出力」「グループ一覧のCSV出力」「eコミマップ初期設定」の機能を利用できません。

ユーザー（登録ユーザー）

eコミにユーザー登録を行っているユーザーです（ID・パスワードを持っておりログインができます）。

非ユーザー

eコミにユーザー登録を行っていないユーザーです。

※ eコミのユーザーの場合もログインしていない状態では非ユーザーとなります。

閲覧範囲

広い

狭い

グループ権限

各グループに関わる権限となり、とあるグループにおける「メンバー」に与えられた権限のことです。グループに「参加している/参加していない」の区別はもちろん、そのグループの中で「管理者なのか？編集者なのか？それ以外の一般利用者なのか？」を指定するための権限となります。

グループ権限には以下の5つの権限があります。

前項のとおりグループ権限とサイト権限はまったく別の権限です。グループ権限は、公開範囲に影響しますので重要です。

※ グループは複数あるので、それぞれのグループ毎に「グループ権限」は設定します。そのため同じユーザーであっても「グループAでは管理者、グループBでは一般利用者、グループCでは未参加」といった設定が可能です。

閲覧範囲

グループ管理者

グループを管理するユーザーです。

グループ内なら全ての設定・投稿・編集・削除が可能

グループ副管理者

グループ管理者とほぼ同等だが、グループ管理者をグループ管理者より下位のレベルに引き下げることはできず、また自分を管理者にあげることもできません。

【非推奨権限です】

グループ編集者

グループ内で記事の投稿が可能なユーザーです。

グループの管理はできないが、情報発信を行う一部の機能を利用できる権限です。情報発信以外は、一般利用者と同じ権限となります。

※ 編集者が投稿/編集可能なパーツは、ブログパーツ/イベントカレンダーパーツ/ブロックHTMLパーツになります。

一般利用者

グループに参加のみしているユーザーです。

主に管理側が発信する情報を受けたり、発信情報に対して返信したりすることができる（ブログコメント、掲示板への返信）権限です。また、グループメンバーのみに公開された情報などが閲覧できます。

未参加

グループに参加していないユーザーです。

グループがメンバー以外に閲覧やコメントを許可している場合、グループの情報に接することが出来ます。

広い

狭い

公開範囲

公開範囲とは、ページで発信する情報に設定する表示制限のことです。

グループ・ページ・パーツ・記事に設定でき、情報を受ける側のユーザーが持っているサイト権限・グループ権限などにより、「誰に見せる・見せない」の設定が可能になります。

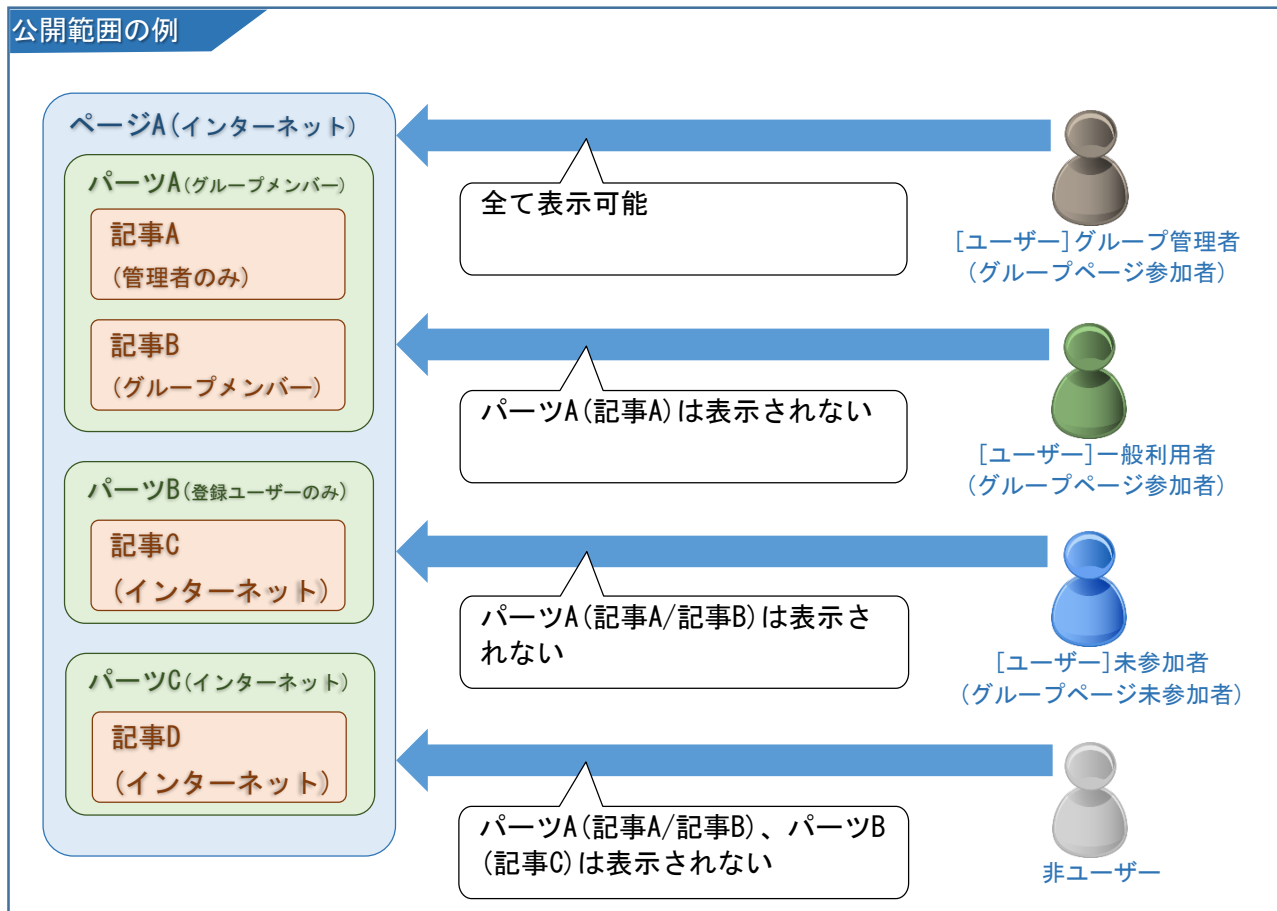



図-3


公開範囲の設定値

公開範囲は、「サイト権限」と「グループ権限」を組み合わせ、以下の5段階で設定することができます。


インターネット

 誰でも閲覧可能とする公開範囲です。(eコミユーザーでなくても閲覧できる)


登録ユーザーのみ

 eコミユーザーであれば閲覧可能な公開範囲です。


サブサイトメンバー

 eコミのユーザーであり、かつ対象ページの親子関係グループに参加しているユーザー（サブサイトメンバー）は閲覧可能な公開範囲です。

グループメンバー

 eコミのユーザーであり、かつ対象グループページに参加しているメンバー（グループメンバー）は閲覧可能な公開範囲です。

管理者のみ

 eコミのユーザーであり、かつ対象のページのグループの管理者のみが閲覧可能な公開範囲です。

公開範囲

広い

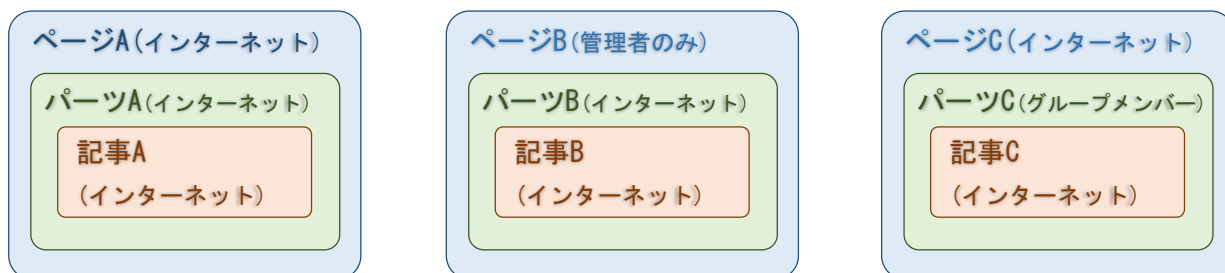
狭い

公開範囲の設定できる場所(単位)と場所の包含関係について

公開範囲は1. グループページ自体、2. パーツ、3. 記事/イベント (blog/イベントカレンダー) に設定します。これらは包含関係にありますので、仮に記事やパーツが誰にでも見える設定であっても、設置しているグループページ自体で制限を掛けている場合、グループページの公開範囲に制限されます。これを「公開範囲の包含関係」といいます。

※【注意】次項のファイル倉庫内のファイルの例外についても参照

公開範囲の包含関係の例



上記例の場合、ページA(記事A)は、誰でも閲覧が可能になります。
ページB(記事B)の場合は、公開範囲がインターネットですが、ページの公開範囲が管理者のみなので、管理者以外は閲覧できません。
ページC(記事C)は、公開範囲がインターネットですが、パーツCの公開範囲がグループメンバーなので記事Cは、グループメンバー以外は閲覧できません。

公開範囲の包含の例外について(重要)

公開範囲はファイル倉庫内のファイル一つ一つにも同様に設定が可能です。ただし、ファイル倉庫内のファイルは「包含の例外」になりますので、ファイル個々に設定した公開範囲で即設定されます。

公開を制限しているブログ記事に、インターネット公開で設定した画像ファイル(ファイル倉庫内に配置)を貼り付けると、記事自体は閲覧できませんが、画像のURLに直接アクセスすると画像だけは閲覧できてしまいます。ご注意ください。

サイト/システム管理者(公開範囲権限の例外)

通常は上記5段階で公開範囲を制限しますが、システム管理者/サイト管理者は例外的に全グループの全情報にアクセスできます。これはサイト全体を管理するスーパー管理者であるためです。

表示・デザイン系

デザインや雛形

テーマ

あらかじめ作成しておくページデザインのことで、

ページテンプレート

テーマ（デザイン）と、機能（パーツ）を組み合わせで作成しておく雛形です。

グループページを作成する際にテンプレートを適用することで簡単にグループページを作成できます。

ページの呼び方

グループページ

各グループ（団体・組織・個人）にeコミが提供するWebページのことで

メインページ

それぞれのグループページで1つのパーツをメインとして表示するページです

ポータルページ

サイトにアクセスしたときに一番初めに表示するよう設定したグループページのことで（通常サイトのトップページに当たります）。また、ポータルページは、いつでも他のグループページに変更可能です。

パーツに関すること

パーツ

グループページ上に配置する機能のことで、

ブログやイベントカレンダー、地図や掲示板など様々あります。

ブロック

パーツを配置している箇所のことで、

メインカラム

メインとなるカラム（縦の並びのこと）

記事

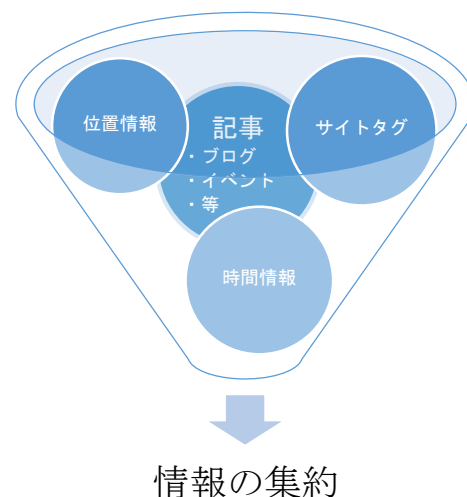
各パーツに投稿されたデータのことで、

情報の集約

情報の集約について

eコミグループウェアでは、ブログなどで発信する情報にサイトタグ（タグ）や位置情報をつけることができます。それらのサイトタグを元に情報をまとめて表示したり、位置情報をまとめて地図上に表示したりすることができます。

これらの「集約」について解説します。



集約の条件となる情報

サイトタグ

サイトタグは一般に「タグ」と呼ばれるもので、eコミサイト全体を範囲としてサイト管理者・システム管理者があらかじめ利用するタグをいくつでも登録しておけます。

ブログ記事などを投稿する際に登録済みのサイトタグを設定し、あとでそのサイトタグが設定されている記事をまとめて表示することができます。

対象パーツ：ワッツニューパーツ（タグリーダーモード）

位置情報

ブログ記事などに投稿する際に、場所の情報（位置・範囲）を設定できます。それらを「位置情報」とよび、地図の機能を使いまとめて表示することができます。

対象パーツ：簡易マップパーツ

時間情報

ブログ記事などは一般的に「投稿した時間」を持っています。新しい情報をまとめて表示することができます。

対象パーツ：ワッツニューパーツ（ワッツニューモード）
：RSSパーツ

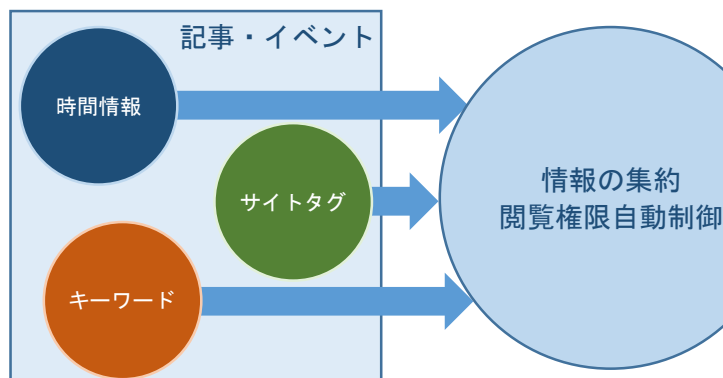
集約を行う機能(パーツ)

ワッツニューパーツ

時間情報や記事・イベントに設定したサイトタグや特定のキーワードを元に情報の集約を行うパーツです。

eコミサイト内の情報を集約できます。また記事・イベントの公開範囲を自動的に判定し、閲覧できない権限のユーザーでは表示されないよう自動制御できます。

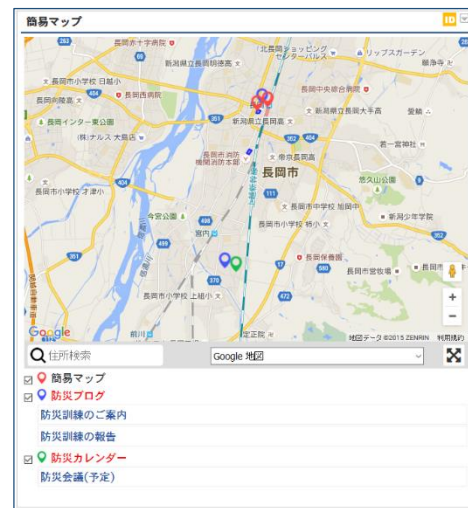
新規投稿に「New」マークを表示させることができ、更新履歴の様な使用方法も可能になります。



簡易マップパーツ

位置情報を元に情報の集約を行うパーツです。

eコミサイト内の位置情報の集約を可能とします。情報の公開範囲を自動的に判定し閲覧できない権限のユーザーでは表示されないよう自動制御できます。



RSSパーツ

インターネットに公開されているRSSを取得・表示します。RSSパーツでは「New」マークは表示できません。

